

「株式会社クオトミー」への出資について

2025年12月8日

NOBUNAGAキャピタルビレージ 株式会社

十六フィナンシャルグループのNOBUNAGAキャピタルビレージ株式会社（代表取締役社長 峠 清孝、以下「当社」といいます。）が運営するファンドが新たに株式会社クオトミー（代表取締役 大谷 隼一、以下「クオトミー」といいます。）に出資いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当社は、これからも、成長が期待できるスタートアップ企業への投資を通じて、地域経済と地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記



1. 本件投資情報

対象ファンド	NOBUNAGA Growing Fund 投資事業有限責任組合
出 資 日	2025年10月8日
出 資 形 態	株式の引受

2. 出資について

- ・ 「医療者のポテンシャルを最大化し、健やかな医療をつくる。」をミッションに掲げ、デジタル技術やAIを利用して医療現場のワークフローを改善し、医療従事者が活躍する世界の実現に向けた取組みに共感するとともに応援したいと強く感じたこと
- ・ 医師として活躍してきた代表の大谷氏が提供する外科系医師向けソリューション「OpeOne（オペワン）」は、医療現場での方針検討や症例の伝達・管理などの業務効率化を実現するとともに、医療機関の抱える財務面の課題の解決につながると感じたこと
- ・ 代表の大谷氏は、2023年からメスを置いて起業家としてコミットしており、ミッションの実現にかける強い想いとその想いに共感して集まったチームは、地域の将来の担い手として、目指すべき社会を創造してくれると期待することなどの理由から出資いたしました。

3. クオトミーについて

代 表 者	代表取締役 大谷 隼一
所 在 地	東京都千代田区外神田 2－3－6 成田ビル3階
事業内容	病院向け外科系チーム医療DX【OpeOne】シリーズの開発・提供
U R L	https://www.quotomy.co.jp/

(「OpeOne」サービスイメージ)



■ クオトミーについて

医療者のポテンシャルを最大化し、健やかな医療を実現することをミッションとする現役の整形外科医が創業した医療スタートアップです。

外科系医師の長時間労働の原因となっている「情報共有」や「カンファレンス準備」などのノンコア業務を効率化するため、電子カルテ非依存型のクラウドサービス「OpeOne」により医療現場のDXを促進してきました。現在は、外科系チーム医療全体を支える「OpeOneシリーズ」へと発展させ、医師の働き方改革とチーム医療の質向上を支援しています。

以 上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL 058-266-2511】